

上ノ国子は元気いっぱい!

9月10日、上ノ国・河北両保育所では、それぞれ町民体育館・河北小学校体育館において運動会を開催しました。

本町では、平成26年から実施されている子育て施策の影響から園児数が増加しており、同時に応援に訪れるお父さんお母さんも増えたことで、非常ににぎやかな運動会となりました。

こうした背景から、両会場では父母からの大きな声援を背に、いつも以上に元気いっぱいの踊りやかけっこを披露する園児たちの姿が印象的で、運動会は笑いあり感動ありの和やかな雰囲気の中で行われていました。



安全運転の意識を見つめ直して

9月12日、交通安全意識の啓発による事故防止を目的として、上ノ国小学校、中学校、高校合同による交通安全街頭啓発運動が北村コミュニティセンター前にて実施されました。

この活動は、秋の全国交通安全運動の一環として例年実施されており、町内では町内会や保育所が行っている交通安全運動などとともに、活動の一つひとつが本町の「交通事故ゼロ連続2880日(9月21日時点)」に結果として表れています。

この日、集まった小中高生たちは、交通安全と書かれた黄色いタスキをかけて「交通安全キャンペーンをやっています。安全運転をお願いします」と元気に声掛けし、事故の起こらないまちであり続けられるよう活動していました。



さやいんげんを新たな柱に

8月31日、豊田地区の鈴木敏秋さんのほ場において、サヤインゲンの栽培技術向上を目的とした町主催の講習会を初開催し、農業者や関係者19名が参加しました。

サヤインゲンは、小面積ながら高収益が見込める作物で、管理面でも比較的省力化できることから近年作付面積が増加しています。

講習会では、檜山農業改良普及センターから指導員を招き、基本技術に関する講習などが行われ、参加者からは「これまで独学の部分があったため、非常に勉強になった。」「明日から活かせる知識を吸収できた。継続して開催してほしい」といった声が聞かれました。

今後、サヤインゲンの生産量が拡大し、本町農業の新たな柱となることが期待されます。



秋鮭釣り解禁、目指せ一本釣り

9月1日、秋鮭釣りが解禁となり、上ノ国漁港や石崎漁港周辺が釣り客で賑わいました。

本町では、天野川・石崎川に鮭が遡上するため、毎年両漁港付近では遡上前の鮭を釣り上げるために大勢の釣客の姿が見られます。

解禁日当日、天候にも恵まれたこともあってか、早朝から漁港や浜辺に人が集まり、初日から一本釣りを狙って、多くの釣客が竿を握っていました。

釣客にお話を伺うと「今年の日本海側はまだ本調子じゃないようだけれど、鮭の一本釣りは気持ちが良い、味も美味しいから釣っていて楽しい」といった声も聞かれ、上ノ国での秋鮭シーズンを満喫しているようでした。

